

大学院生の皆さんへ

大学院研究科長 うちやま としお 内山 俊郎

現在のように変化の激しい時代では、常に新技術を学ぶことが求められます。このような時代に大学院で学ぶ場合、重要なことが3つあると考えます。第一は、新しいことを学ぶための基礎的な知識です。たとえば、IT技術や数学などの理解を深めることは、とても重要です。社会人になってからも学ぶことは可能なのですが、簡単ではありません。時間を掛けられる大学院生の時に、学ぶべきです。第二は、深く理解している得意分野を作ることです。さまざまな分野において最先端技術の理解を深めることは難しいでしょう。得意分野があれば、その周辺の技術について学んだり、理解を深めたりすることが可能です。そのためには指導教員が取り組んでいる研究に触れ、これを理解したり関連技術・知識・スキルを修得したりすることがまず考えられます。

第三は、「学び方」を身につけることです。昔から、「大学は学び方を学ぶところ」と言われて来ましたが、常に新しい技術が登場する現在では、その重要性が増しています。では、どのように身につけるかという、なかなか説明できません。そのための講義もありません。おそらく、自律的に探究する取り組みを続けることが、その修得につながるのでしょう。基礎的な知識を学ぶ際にも、指導教員の研究を理解しようとする際にも、深さを求めて取り組むことが重要です。また、修士論文をまとめるには、論旨を論理的に組み立てる作業が欠かせません。その過程では思考力を高めつつ総動員することになります。これらの地道な取り組みが、「学び方」の修得につながると思います。

大学院で有意義な時間を過ごし、世の中で活躍してください。